

(参考)

# 河川水辺の国勢調査とは

## (1) 目的

河川水辺の国勢調査とは、河川を生物環境という観点からとらえ、定期的、継続的、統一的に、基礎情報を収集整備するための調査です。

## (2) 対象河川及びダム

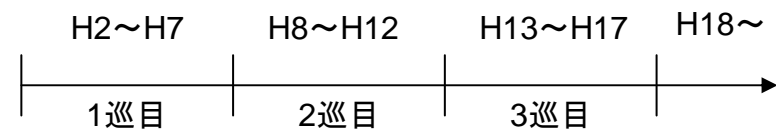
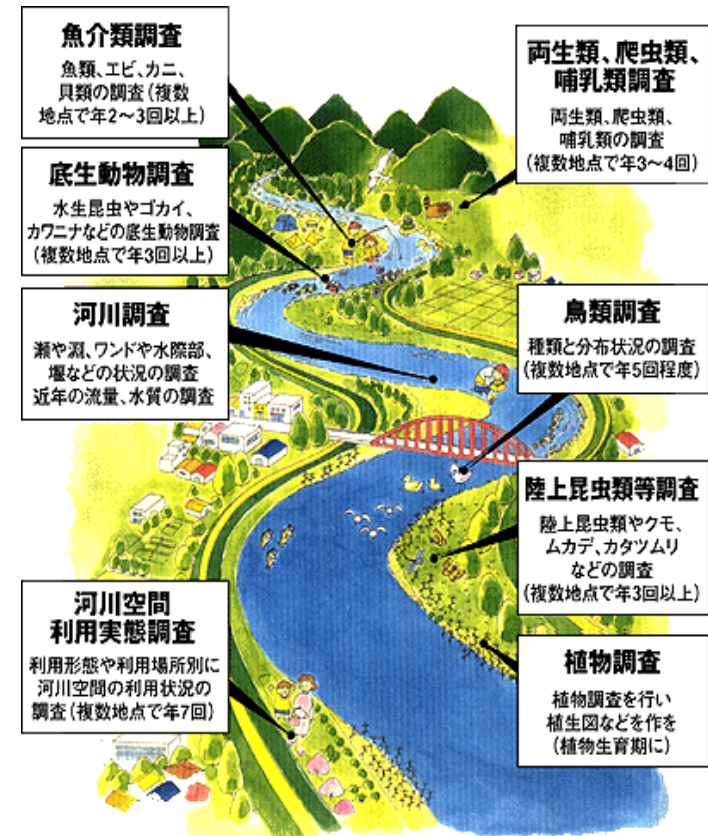
主に全国109の一級水系の直轄区間の河川及び直轄・水資源機構管理のダムを対象としています。

## (3) 生物調査について

調査対象の生物項目は魚介類、底生動物、植物、鳥類、両生類・爬虫類・哺乳類、陸上昆虫類等の6項目（ダム湖調査はプランクトンを含めた7項目）です。5年で6項目（ダム湖調査は7項目）を一巡しています。

## (4) 調査実績

平成2年度から調査を開始し、平成17年度は3巡目調査の最終年です。（平成2年度は試行。）



(参考)

# 河川水辺の国勢調査の利用例

「河川水辺の国勢調査」の結果は、全国の河川管理に有効活用されています。下図は「河川環境情報図」といい、河川水辺の国勢調査の結果を地図上に示したものです。この図から、整備や保全の必要性の高い箇所などを抽出しています。

